

一般質問



あだち はつお 議員
足立 初雄

問 里山を設置し町民の健康増進に

答 地域の協力を得て環境整備

問 幸田町は周囲を山に囲まれて、緑が多く住みやすい街である。しかし、最近はその手入れをする人が減っている。

答 今後、どのように利用していくのかを問う。

問 山林と里山の概念は。

答 〔環境経済部長〕 山林は樹木の生えている山地。里山は集落を取り巻く二次林、農地、ため池、草原などで構成。

問 坂崎の大砦地区に里山の看板があるが、町内に里山は何力所あるか。

答 具体的数値では示せない。

問 管理の現状は。

答 高齢化や林業就業人口の減少などにより、持続的な維持管理が難しい。

問 あいち森と緑づくり事業や林道整備事業の実績は。

答 里山林整備、公園緑地

等の植栽、自然観察会など。

問 林道一之小屋線は973Mの開設工事を実施。林道の管理と利用形態

答 所在地元区に委託。本来の利用目的の他に、

ウォーキングなど。

問 里山をたくさん設置管理し、町民の健康維持増進に。

答 〔町長〕 草木などに親しみを持たれるよう、地域の協力を得て環境整備に努めたい。



整備の行き届いた里山（坂崎区）

問 今一度情報伝達のチェックを

答 情報を共有し早い伝達に努める

防災無線は、情報伝達の重要な設備となっているが、十分とはいえない。現状と対策を問う。

問 現在使われている機種の種類と件数は。

答 〔消防長〕 アナログとデジタルで戸別受信機を貸与。アナログ、デジタル合計で7948台。

問 利用方法の周知やメンテナンスは。

答 チラシの配布、ホームページに掲載。消防職員が機器の点検、清掃。

問 耳の不自由な人への対応は。

答 文字表示付き戸別受信機を貸与。

問 雑音などの苦情への対応は。

答 放送内容を文字にして、メールで送信。

問 屋外拡声子局の設置状況と停電時の対応は。

答 全町内が音達区域になるよう、69力所に設置。

各子局にはバッテリーを積載。

問 スマートフォンなど携帯電話での受信者を増やす対策は。

答 〔総務部長〕 広報こうた、町ホームページに掲載。地区防災訓練などでPR。

問 今一度、情報伝達の現状をチェックし、改善努力を。

答 各担当課で情報を共有し、早く伝達できるように職員教育に努める。

一般質問



いなよし てるお 稲吉 照夫 議員

問 プラットホームの屋根延長を

答 財政負担の課題があり検討中



混雑するプラットホーム（幸田駅）

JR幸田駅の乗降客が増えている。

幸田駅前広場等基本計画（案）が示されているが、安全・利用面で改善を求める声がある。

問 1日の乗降客の数は。

答 企画部長 平成29年度約8000人弱。

問 朝夕のラッシュ時に、プラットホームが、混雑で危険の声がある。

答 階段が1カ所で、1日

3本の上下線同時発着があり、混雑を承知している。

問 プラットホームの屋根延長予定は。

答 財政負担の課題があり検討中。

問 快速列車の増便の声があるか。

答 今以上の停車増便は、むずかしい。

問 駅西の立体駐車場計画に一部商業スペースを。

答 用途地域にも適合するという面はあるが、今後の検討。

問 駅前に役場機能の一部を含めた複合施設は。

答 建設部長 むずかしいと考える。

問 5万人を目指して、住み良い、憩いのある町づくりは。

答 町長 玄関口にふさわしい整備と多様な世代が集まる、にぎわいの商店街の再生など構築していきたい。

問 民生委員の配置は。

答 健康福祉部長 23区から推薦を受けた38人の民生委員児童委員と、3人の主任児童委員で構成。民生委員はどのように選ばれ、任命されるか。

問 区の推薦により、幸田町民生委員推薦委員会の審査を経て県に推薦。

町から国へ具申がこなわれて、厚生労働大臣から委嘱される。

問 無償で活動しているところ聞か。

答 年間、県から実費5万9000円、町から福祉相談協力員報酬4万2000円、相談窓口1回3500円。

問 年間の相談件数は。

答 委員が受けた253件、定例の相談日に13件。

問 支援が必要な世帯の状況把握はどのように。

答 高齢者宅の定期的な訪問や地元からの情報と、生活保護担当との連携。

問 民生委員制度の町民への周知方法は。

答 広報やイベントで周知。

問 支援が必要な世帯の状況把握は

答 生活保護担当者との連携

親が80代、子が50代で、親の年金をあてにする世帯が増えている。支援を必要とする世帯の対応に、民生委員の活動を問う。